

鈴鹿市民の コミバスをよくする会ニュース

(第9号・2013.8.12発行)

発行:(略称)コミバスをよくする会
事務局(仮):辻井良和 方
〒510-0234 鈴鹿市江島本町31-36
電話 059-386-0529 FAX 059-386-0646



市民のねがい届け 検討を要請しました

宮崎・大森副市長らと懇談
(7月12日)

鈴鹿市民のコミバスをよくする会では、今年になって初めての鈴鹿市長との懇談会を、7月12日に行いました。

コミバスの会からは、辻井代表、西村副代表、橋詰事務局長のほか、白子、江島、上田町の自治会や老人会の関係者、年金者組合関係者ら13人が出席し、鈴鹿市からは、宮崎・大森両副市長と関係各課長ら10人が出席しました。

懇談会の始まりに玉城町「元気バス」の実際の映像をDVDで観てもらいました。玉城町では、高齢者などのために、10人乗りの小型乗り合いバスを動かし、利用者からの申し込みを電話やスマホで受け付け、自宅近くのバス停から目的地まで、乗り合わせて無料で利用できるようにしています。

医者に行くこと、買い物に行くこと、公民館や福祉施設を利用すること、温泉に行くこと、なんでも

利用できるので、お年寄りの外出が盛んになり、健康増進にも役立っています。

玉城町では、希望者にスマホ(携帯電話)を渡して、体に異常を感じたらすぐ社会福祉センターと連絡がつく「緊急ボタン」が組み込まれており、誰がどこにいるかもわかるので、見守りの役割も果たし、住民の安心・安全が守られています。

懇談会では、この玉城町のやり方がそのまま鈴鹿市で行えるとは言えませんが、このような高齢者にも利用しやすい交通網を全市に広げたいと、コミバスの会から要請しました。同席した各地域の代表からも、それぞれに意見を発表し、願いの切実さが表れていました。

鈴鹿市側の意見としては、現在のコミバスで良いとはしていないが、福祉的なバスにする場合、現在の鈴鹿市の財政規模では、福祉分野への予算配分はとても難しいというのが、今年度の考えとの意見でした。

コミバスの会からは、このような大きな事業を1年や2年で実現できると考えていないので、これからも息の長い運動で市民の中に仲間を増やし、住民の多数の支持を得ながら、市長に要請し続けると伝え、やり方も、無料または会員制など、陸運局やバス会社などの干渉を受けない交通網の検討を要請しました。

みんなの願い

- ★無料または低料金にしてほしい。
- ★もっとコースを増やしてほしい。
- ★1時間に1本は走らせてほしい。
- ★乗り継ぎを無料にしてほしい。
- ★市内のどこへでも行けるようにしてほしい。

コミバスをよくする会の地域集会在、すでに江島、上田、上野の3地域で行われました。どの会場でも、参加された皆さんからは、切実な声が寄せられ、この運動がどれほど大事なものがよく分かります。

★現在の鈴鹿市は、自家用車なしには隣の町まで行くこともできません。近くにお医者さんのいない街では、お医者さんに払うお金より、タクシー代金のほうが多いのです。

★買い物も、タクシーで出かけ、1週間分買い込んで冷蔵庫がいっぱいになり、毎日同じようなものを食べていますと、悔しそうなお話を聞きました。

★交通は、人間の自由の保障です。好きな所に行って好きなものを選び、美しいものやおいしいものを食べる喜びは、高齢期の幸せの大事な中身です。

発車オーライ

三重県で日本高齢者大会 (9月12・13日)

13日の記念講演は(三重県総合文化会館)
「老人漂流社会…このまちで暮らしたい」
板垣淑子さん (NHK報道局チーフプロデューサー)

前号でお知らせしたように、今年9月12日と13日に、三重県津市で「第27回日本高齢者大会(全国から高齢者の仲間が集まる大きな会合)」が開かれます。鈴鹿市内の年金者組合や医療福祉生活協同組合、老人会有志、婦人団体などが集まって実行委員会を作って、鈴鹿市からも多くの参加者を送りたいと、実行委員会を作って、広告や寄付を集め、参加者を募集しています。

コミバスをよくする会も、6月の役員会でこれへの参加を決めました。

12日は三重大学教室で講座と分科会 コミバスの分科会もあります

12日の分科会は、三重大学の教室を借りて、7つの講座と15の分科会が開かれます。

講座は、講師の話聞いて質問をする形式で、興味のある講座に、誰でも参加できます。高齢者に関係の深い医療・介護から年金や社会保障のこと、原発やTPPについての深い話が聞けます。

分科会では、生活をよくするためにやっている各地の活動や運動の経験。なぜこんなことが大事ななど、参加者の意見交換と経験に学ぶ会となり、話し合いや討論が主となります。コミバスの分科会も用意しており、玉城町の「元気バス」を実施した立役者の林総務課長が、その経験を報告してくれます。

**あなたの声を
聞かせてください。**



コミバスについて願っていること、自分にとって必要な理由、利用したい公共施設は何か、自分の利用方法など、あなたの声を届けてください。原稿は400字以内。「紙上匿名」でも結構ですが、原稿には本名と住所、電話番号を書いてください。写真のある方は送って下さい。可能な限り掲載いたします。

送り先は、このニュース右上の所です。

とても愉快的な夢のある話が聞けます。コミバスの会辻井代表が司会を担当します。

13日の全体会では、NHKテレビで放映された「老人漂流社会」の番組プロデューサー板垣淑子さんによる記念講演があります。現代の高齢化社会を深く描いたその心を、聞かせてもらいます。

コミバス会員は、無料で参加できます

鈴鹿地域の実行委員会では、参加費用を少なくするために広告集めや寄付集めを行い、150人までの参加費用をほぼ集めましたので、これからの申し込み者は、無料で、貸し切りバスで参加できるようになりました。

申し込みは、役員に申し込んでください。申込書とリーフレットをお届けしますので、申し込み書に記入してください。

地域懇談会を開催しました

6/23 江島2丁目、8/8 上野町(写真)



自治会や老人会の役員の方々の協力のもと、江島2丁目では23名、上野町では27名の住民の方々に参加いただき、コミバスをよくする会「地域懇談会」を行いました。

はじめに三重県玉城町の「元気バス」のDVDを観たあと、辻井代表が会の基本的な考え方について説明しました。そのあと、様々なご意見や感想をいただき議論を深めました。

1時間ほどで懇談会を終えましたが、全員の方がアンケートに記入いただき、多数の方が年会費1000円を払って会員になっていただきました。

上野町では、玉城町の町長が友人なので昨年会いに行ったら「オンデマンドバスの評判を聞いて、全国から毎週のように視察に来てくれる。高齢者に喜ばれてうれしい」と語っていたこと、年間2千万円の経費で出来るなら素晴らしい。鈴鹿市ならいくらで出来るだろうと話しがはずみました。